

【フロントライナー】

Frontliner

株式会社日本保健衛生協会
第一事業部
サニタリーG
作成者 / 桧尾元康

スタッフの皆様、日々の業務にご尽力いただき誠に有難うございます。

日が暮れるのも早くなり、肌寒い日も多くなりました。
我が家はすき間風が多く、室温が低くなりがちなので暖房をつける派とまだつけない派で対立しております。

気温が何度になったら暖房をつけるのが適正なのでしょう？
気になって調べたところ環境省は暖房時の室温を20℃(目安)で快適に過ごすライフスタイルを推奨するウォームビズ(Warmbiz)という取り組みを行っているようです。

【過度な暖房に頼らず、冬を快適に過ごすライフスタイル】として暖房中の室温は19℃を目途に過度にならないように適切に調整に務めることと方針を定めています。
暖房に必要なエネルギー量を削減することによりCO2の排出量を削減し地球温暖化を防止する事が目的ですが、電気代も効果的に削減できるといったメリットもあります。

皆様のご家庭でも暖房による対立がありましたら是非参考にして下さいませ。

今月の
特集

環境の為に私たちが出来る事

私たち清掃従事者は各現場のトイレや廊下、クリーンルームや病院のオペ室など様々な場所で業務を行っています。どの現場でも日々の業務のなかで環境負荷を減らすために節電や節水、ゴミの分別ができると思いますが今回は洗浄剤について考えてみましょう。

洗剤の発祥

我々は日々の生活の中で掃除や洗濯など様々な場面で洗剤を使用しており、生活には欠かせない物です。石鹼が日本に伝わったのは、室町時代の頃と言われています。それまで日本では、米のとぎ汁などを洗剤の代わりに使っていました。合成洗剤は、今から100年ほど前には、ドイツではすでに開発されており、日本でも1937年には最初の合成洗剤が発売されました。



合成洗剤が引き起こした汚染問題

1960年代には合成洗剤が普及し、自然環境への害も指摘されるようになりました。当時は環境負荷の高い界面活性剤を使用していた為、家庭や工場から出る水が流れ込んだ川や池にたくさんの泡が消えずに残り魚などに悪い影響を与える現象が現れていました。洗剤による環境汚染問題に対し、メーカーは分解されやすい成分を使うなど企業努力を重ね、行政は下水道や下水処理場の整備を進めています。

洗剤について

私たちが普段使用している洗剤は大きく分けてアルカリ性洗剤、酸性洗剤、中性洗剤と3種類に分類されます。

- ・アルカリ性洗剤 ⇒油汚れ、手垢等の酸性の汚れを中和し落とします。
- ・酸性洗剤 ⇒水垢、石鹸カス、尿石等アルカリ性の汚れを中和し落とします。
主に流し場やトイレ等の水回りで効果を発揮します。
- ・中性洗剤 ⇒アルカリ性洗剤・酸性洗剤の中間にあたる中性洗剤は汚れを落とす効果は他の2種類に劣るが人体や物質に無害な物が多い。

洗剤で汚れが落ちる仕組みについて(※界面活性剤とは)

各種の洗剤には大抵界面活性剤と言う成分が含まれています。
界面活性剤と一言に言っても様々な種類の物が有り、以下の性質を持っています。
①浸透作用・・・水を吸収しにくい繊維等に水が浸透する様にする力。
②乳化作用・・・水と油の様にお互いが混じり合わない物質同士をくっつける力。
③分散作用・・・粉末等の物質を分散させ水に溶ける様にする力。
これらの界面活性剤の性質により洗剤は汚れが落ちやすくなる様に作られています。

洗剤は正しく使いましょう

汚れを落とすのに重要な界面活性剤ですが、冒頭に書いたように環境への悪影響や人や動物への健康被害も報告されています。

合成洗剤を使用する際にはこれらの事に十分に留意をして使用する必要が有ります。

①希釈が必要な洗剤は正しい希釈倍率を守って使用する。

悪い例・・・洗剤成分が強すぎて塗装が剥げたり床や物を変色させたりしてしまう。

②洗剤の中には環境に有害な物が有るのでどこにでも流さない。

悪い例・・・洗剤を側溝に流した結果、有害成分が川に流れだし魚や生物が死んでしまう。

※新しい洗剤を使用する時や、業務中の使用で困った場合は社員に相談しましょう。

アルカリイオン電解水

また、当社ではいくつかの現場で環境負荷が少ないといわれるアルカリイオン電解水を日常清掃や定期清掃で使用しています。使い勝手も非常によいので今後使用する現場も増えるかもしれません。
ご家庭のお掃除にも検討してみてもはいかがでしょうか。

【メリット】

- ・合成界面活性剤や溶剤などを含まない
- ・界面活性剤を含まない(泡立たない為)、すすぎ作業が大幅に減少
- ・除菌、消臭効果がある
- ・野菜や果物の予備洗浄に使われるほど安全性が高い
- ・タンパク質や油脂を除去する能力が高いがほぼ水で出来ているため様々なシーンに使える

【デメリット】

- ・アルカリ性に弱い素材に使えない・・・アルミニウムやゴム素材、ガラスなど
- ・アルカリ性の汚れには効果を発揮しない・・・水垢や石鹸カス、尿石など
- ・長時間使用すると肌荒れの原因となる(必ず手袋をしましょう)

今回は環境負荷をテーマに洗剤について簡単にお話ししましたが、環境負荷といっても公害や廃棄物によるものなど様々です。掃除の際に水を流しっぱなしにしていないか、電気をつけっぱなしにしていないか、簡単などころから改めて見直してみましょう。